

10月は秋晴れの心地良い天候が続きました。ののかぜ保育園は日中金木犀の香りを園内でも感じられる日があり、ほっと心が癒されました。子どもたちは園庭でも散歩先でも秋の自然との出会いを感じ取っています。11月は平和公園の紅葉が益々色づいていきますね。寒暖差に気をつけながら、ともだちや保育士と気持ちを通わせて「小さい秋」を見つけてゆったりと過ごしていきたいと思います。

### <ののかぜ広場、たくさんの温かい応援ありがとうございました>

保護者の皆さんには準備運営等へのご協力と、子どもたちへの温かい応援をありがとうございました。9月に開催された夏まつりでも感じたことですが、参加された皆さんの大きくやさしく温かい眼差しが子どもたち一人一人を包み込み、子どもたちも職員も安心感いっぱいであることができた「ののかぜ広場」です。「我が子だけでなく、どの子も一人一人大事な子どもたち」そんな大切なことが感じられる「大人たちの温かい眼差し」でした。

二部の綱引きも大盛り上がりで、大人たちの頑張りに子どもたちも真剣に応援していましたね！次年度の交流も今から楽しみです。職員も来年は頑張りますよ～。(きっと！)

### <不適切保育報道から考える>

先月もまた不適切保育の報道がありました。保育福祉の民営化・規制緩和がどんどん進み、様々な運営形態の保育園も増加、待機児対策にはなっているかもしれませんが、どこか「保育の質の低下」が反比例して進んでいるように感じてならない日々です。もっと「国・自治体の責任」を問うべきではないかと憤りを感じます。

先日の中日新聞には「保育現場向けマッチングアプリ開発」された会社が紹介されていました。詳しい事を理解していない（正しい理解も進めていくべきだと思っています）ので一概に言うてはいけませんが、「一日単位で保育士の求人が出せて採用できる」等の文言に「保育ってそういう仕事??」と大きな違和感を感じました。保育現場の人材確保は大きな課題です。しかし合わせて同時に「保育の質の向上」を問わなければならない今、開発した会社に対してではなく、「保育の質」についての価値観がほとんど感じられない報道の内容に、世の中の「保育」に対する認識の現状をあらためて突き付けられたような思いになりました。

また、先月の職員会議では、新聞報道をもとに「子どもの人権」というテーマで「職員自身の保育の振り返り」をしました。短い時間ではありましたが、職員一人一人、様々な観点から感じることを伝え合い、学び合い、今後も「学習と振り返り」を続けて行くことを考えています。

秋は「保育の質を守る、高める」ための全国的な運動として、「保育制度改善のための署名活動」「もう一人保育士を…の運動」がすすみ、11月が山場となっています。国・自治体に対しても「保護者の力」は絶大です！ぜひ力を合わせて共に進めていきたいと願います。

#### ♪世界子どもの日 みんなの願いを届けるパレード2023 イン若宮広場

11月19日(日) 10:10 プレオープニング 11:00 パレード

11月20日は国連によって制定された「世界子どもの日」です。この日にちなんで「もう一人保育士を」実行委員会が保育士配置基準の改善の声をもっと多くの人に届けようと開催するパレードです。舞台上がって歌う子どもたちも大大募集中！当日はマスコミ取材もある予定です。ぜひ多くの参加で、パレードを盛り上げましょう。参加お待ちしております。